

学校と家庭・地域を結ぶ

白布城だより2020 春<<号外②>>

栃木県立真岡高等学校定時制 〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24-1

☎0285-82-3413 fax0285-82-2913

* 急 告! *

Sudden report!

Informe repentino!

Relatorio repentino!

Biglang ulat!

全国に、緊急事態宣言、発令。 休校は、5月6日(水)まで延長！

◆School is closed until May 6th.

◆La escuela esta cerrada hasta el 6 de mayo.

◆Aescola esta fechada ate 6 de maio.

◆Ang paaralan ay sarado hunggang Mayo 6.

先ごろ、担任の先生から連絡があったとおり、日本国政府、栃木県教育委員会からの通達により、休校状態を延期することになりましたことを、お知らせします。

<記録・広報係／出版係>

■はじめに

皆さま、こんにちは。今、この地球上のすべての国々で、新型コロナウイルスの感染拡大が留まることを知らない状態です。栃木県内高等学校も、再々度、**5月6日(水)まで、休校を延長します**。私たちは今、現代史上初めての事態を迎えています。ですから、学校も、いまだ経験したことのない事態に、教職員が一致団結して対処していきたいと考えています。生徒の皆さんはもちろん、保護者の皆さまにも御理解をいただき、力を合わせてこの難局を乗り越えていきましょう。

ここで、簡単に現状に到るまでの経過を復習してみたいと思います。筆者個人の感想ですが、**かなり短期間に猛烈な勢いで新型ウイルスが蔓延**し、現代の医学の経験や技術を持ってしても有効な処置ができない状態に、私たちは遭遇しています。

中華人民共和国（以降、中国と称します。）では、昨年12月、「新型肺炎」の患者が発生したと発表しました。その後、**1月23日(木)**には、伝染の中心都市、湖北省武漢市を封鎖。ウイルスの拡散を防止する手立てを打ち出します。しかし、**1月26日(日)**には、中国本土全体で1,346人、ヨーロッパ諸国、オーストラリア、マレーシアで初めての感染者が現れ、日本でも3例の感染が確認されました。その後の感染者の推移（一部の国・抜粋）を見てみますと、

1/28(火) 中国 2,800

2/ 2(日) 中国 12,791 日本 20

2/ 5(水) 中国 20,438 日本 23 米国 11

2/12(水) 中国 42,638 日本 28 米国 12

2/14(金) 中国 59,804 日本 33 米国 14

となります。(国名の後の数字は人数 下野新聞・読売新聞)

ところが、今月(4月)に入りますと、様相が大きく変わります。例を挙げますと、

4/24(金) 中国 82,798 日本 12,428 米国 84,2624

です。2ヶ月間でこのような数字の変化が見られました。(読売新聞)

米国(アメリカ合衆国)のこの数字の変化は、いろいろな意味を持っていると思われますが、私たちは、この新型コロナウイルス(COVIC-19)の**現在の医学力の及ばない「威力」**を見せつけられていることが、お分かりかと思います。

さらに、**4月16日(木)**の報道(下野新聞)によりますと、宇都宮市内にある済生会宇都宮病院(宇都宮市竹林町)などに勤務する整形外科医師と、県東健康福祉センター管内(益子町)の小学校に勤務する宇都宮市在住の先生が、それぞれ COVIC-19 に感染していることが確認されたようです。さらに、4月22日(水)の新聞(下野新聞)には、真岡市在住の方の感染が報道されていたのを、お読みになった方もいらっしゃると思います。

私たちは、いよいよ、**私たちの生活圏にまでCOVIC-19が忍び寄ってきた**ことを、自分自身の問題として、真剣に捉えなくてはならない時期を迎えたようです。

また、少々古い話になりますが、筆者は、4月20日(月)に「真岡市で新型コロナが出たんだってね、学校の先生だって?」と、言われました。これは、明らかなに誤った情報です。しかし、このような誤情報が人から人へ広がる要素が、現在、多分にあります(皆さまは、トイレットペーパーなど買い占めませんでしたか?)ので、どうか、**「正しく恐れる」**(4月21日・火 下野新聞)ことを念頭に、毎日をお送りください。

ところで、日本政府は、**4月16日(木)**、先ごろ(4月7日・火)、1都7府県に出した**「緊急事態宣言」の対象地域を、「全都道府県(全国)に拡大」**することを決定しました。これは、国家の「非常事態宣言」であり、日本に暮らす私たち全員に、**「自らの身を、自ら守って!」**という最大級のアピールです。また、栃木県も4月17日(金)、福田富一知事が、**「栃木県の緊急事態措置」**を決定しました。それにより、多くの飲食店舗や運動施設が、18日の午前0時から5月6日(水)までの休業を要請されたのです。

そのためには、**県外への移動禁止など**、日常生活は、多少、堅苦しくなるかも知れませんが、しかし、健康や命には代えられません。

真岡高校定時制課程の保護者の皆さま、生徒の皆さん!今は、我慢の時です。この難局にあって、一人の感染者も出さずに、「穏やかな時」が来ることを信じて頑張りましょう!

■保護者の皆さまへ

新型コロナウイルスの影響で、なにかと日常生活に不便を感じておられる方が多いかと、お察し申し上げます。お元気ですか?

さて、前項でも申し上げましたように、4月16日(木)、政府が「緊急事態宣言」を全都道府県(全国)に拡大しました。それに伴い、県教育委員会の要請で、生徒の皆さんには、**4月22日(水)までだった「休校」の措置を、5月6日(水)まで延長することになりました。**

よって、今は学校での学習が軌道に乗る貴重な時期ですが、お子さまには、**ご家庭であって、同封した主要教科の勉強を、しっかり取り組ませて欲しい**と思います。

進学・就職の状況も、今回の一連の出来事で、昨年度と大きく変わることが予想されます。もう既に、「リーマンショック以上の打撃だ。」とも報道され出しました。卒業年次の皆さんには降って湧いたような現実ですが、泣きべそをかいていても埒(らち)が明きません。ですから、お子さまには、**将来、同じ高校生と競合しても力負けしない、逞(たくま)しい精神力と知識力を身に付けて欲しい**と思います。どうか、この「休校の期間」を有効に活用して、地力を養わせてください。どうか、「手遅れ」にならないようにしましょう。

保護者の皆さま、御家庭にあってお子さまの御指導を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■生徒の皆さんへ

元気ですか？温かかったり寒かったり、強い風が吹いたり雨が降ったりと、冬から夏に向けての胎動（新しい物事が、古いものを突き破って生まれようとする動き）が感じられる今日この頃です。家で、少しずつ勉強をしていますか？アルバイトは順調ですか？

COVID-19（新型コロナウイルスの名前）が、私たちの居る芳賀地区にもヒタヒタと侵入しました今、生徒の皆さんも私たちも、**自分のことは自分で責任を持って守らなくてはならない時期**にきたと言えるでしょう。

幸いなことに（少々、古い資料ですが）、「**新型コロナウイルス感染者の年代別内訳**（3月23日現在）」（下野新聞 4/15）によると、

感染者全体	516人
10歳未満	6人
10歳代	3人
20歳代	46人
30歳代	52人
40歳代	59人
50歳代	87人
60歳代	98人

以下、略

となり、10歳代のあなたがたの世代は、若さあふれる強靱な体を持ち合わせているので、発症者率が少ないようです。が、それで安心してはいけませんね。

もし、あなたが、自覚症状のない「潜在的な感染者」になった場合、それを知らずに家族とともに行動していると、お父さんやお母さん、祖父母の皆さんに感染させて、大変な事になってしまいます。

どうか、生徒の皆さん、予期しない長い休みになってしまいましたが、あなたがたの長い人生の基礎を固める大切な青春時代であることには変わりありません。**ウイルスが存在しそうなところには絶対に近寄らないで**、一分一秒、無駄に過ごすことなく、有意義な「自宅待機」期間にしてください。

文豪、夏目漱石が『こころ』という作品の中で、登場人物にこう言わせています。『精神的に向上心のない者は、ばかだ』。

もし、よく意味の分からない人は、学校が始まってから国語の先生に聞いてみてください。きっと、あななの「座右の銘」になる言葉だと思いますよ。

それでは、今度、登校するときまで元気に過ごしてください。

なお、先生方が、休校期間中に勉強しておいてほしい**「学習のプリント」(仮題)**を、一緒に送付します。しっかり取り組んで、しっかり「知識として」身に付けてください。あなた方は、現役の高校生なのですから！！

◆ウイルスって、なに？⇒先生、インタビュー！

現在、世界は「新型コロナウイルス」の話題で充満しています。

ところで、「ウイルス」って何なのでしょう？

この機会に、本校定時制の篠原義勝先生（理科）に、「ウイルス」について分かりやすく説明していただきました。

篠原先生、よろしくお願いします。

司会（記録・広報係） 先生、よろしくお願いします。

篠原 どうぞ、よろしく。

司会 ところで、現在、新型コロナウイルスの感染拡大で、全世界が恐怖の渦に入り込んでいますが、そもそも「ウイルス」というのは、どのような生物なのですか？

篠原 はい。まず、今、「生物」とおっしゃいましたが、実は、ウイルスは「生物」ではないんですね。

司会 えっ！「生き物」じゃないんですか？

篠原 そうなんです。そもそも、生物というのは、細胞でできていること、エネルギーを使って生活していること、DNA（からだの設計図）を用いて子孫と仲間を増やせることの3つが、最低限必要な条件です。

ところが、「ウイルス」というのは、タンパク質の殻に「DNA」が入っただけで細胞ですらないんです。我々みたいに、エネルギーを作ることもしない。そもそも、「生活」自体していないんですね。子孫や仲間を増やすことに到っては、他の動物（生物）の細胞にある機能を利用して増殖します。そして、細胞を壊しながら出て行きます。このような特徴から「生物」とは言えないんです。

司会 なるほど。ウイルスの振る舞いを知ると、まるで「毒」のようですね。

篠原 はい。今回の「新型コロナウイルス」も、当初、「新型肺炎」と呼ばれていました。発生源は、まだ、ハッキリとは分かってはいませんが、いずれにしても「人間の肺の細胞を壊す毒だ！」とあって良いと思います。毒をもらった人は「毒」をまきます。また、症状にも個人差があって、重症や軽症、それどころか無症状の人もいます。無症状の人は、感染していることに気づかないので、「毒」を撒き散らすことになります。だから、今回の全国的な「緊急事態宣言」になったんですね。そしてウイルスをやっつける薬やワクチンが「まだ、ない。」ということも致命的ですね。

司会 なるほど。現時点では、打つ手はないのですね。要は、ウイルスのいるところから離れること、マスクなどでウイルスの侵入を防ぐことしかできないのですね。

篠原 そうですね。なんだか守りの態勢しか取れませんが、「不要不急」の外出、つまり、「どうしても行かなくてはならない所だったり、急いでしなくてはならない用事」がない場合は、極力、外出を控えていただきたいですね。それと、「こまめな手洗い」、「うがい」は感染症対策の基本です。

司会 そうですね。実行しましょう！本日は、ありがとうございました。

篠原 ありがとうございました。みんな、分かったかなあ？

白布の風～あとがきにかえて～

「新型コロナウイルス」の猛威が私たちの生活圏に近づいている現状が、はっきりと分かるようになってきました。

皆さま、もう一度、原点に戻って、

- ①人と人との距離を取りましょう。（密集）
- ②閉ざされた空間にしないように、こまめな換気を！（密閉）
- ③他の人と、間近で会話するのは控えましょう。（密接）

の「3つの密」を、ひとり一人が心掛けて感染しないようにしましょう。

しかし、ここに、新たな問題が顔を出してきました。「勉強の遅れ」です。夏休み以上の長い期間にわたるこの休校期間で、高等学校の学習ができていません。当初は、ここまで休校が長引くとは考えていませんでしたので、課題は出しませんでした。しかし、休校が長期化する様相を呈してきましたので、基礎的な学力の低下を防ぐ意味で「学習のプリント」（仮題）を、同封します。それぞれの教科の指示に従って、学習に取り組んでください。

なお、休校期間は、5月の感染状況次第で、更に変更になるかも知れません。その場合には、本校の「一斉メール配信」等で御連絡しますので御確認ください。

いずれにしても、真岡高校定時制課程に関わる全ての人々が、元気でこの難局を乗り越えることを祈ります。

（記録・広報係／出版係）